



AN ALAN PARKER FILM

PINK FLOYD
THE WALL

BY ROGER WATERS
DESIGNED BY GERALD SCARFE

WITH BOB GELDOF AS PINK
FILM MUSIC PRODUCED BY ROGER WATERS, DAVID GILMOUR AND JAMES GUNN
EXECUTIVE PRODUCER SEVE O'ROURKE
PRODUCED BY ALAN MARSHALL
ANIMATION DIRECTED BY GERALD SCARFE
SCREENPLAY BY ROGER WATERS
DIRECTED BY ALAN PARKER

MGM映画  CIC 配給 

ピンク・フロイド / ザ・ウォール



MGM映画 
CIC配給 

★スタッフ

監督……………アラン・パーカー
脚本……………ロジャー・ウォータース
アニメーション監督……………ジェラルド・スカーフ
製作……………アラン・マーシャル
製作総指揮……………スティーブン・オラーク
音楽……………ロジャー・ウォータース
"……………デビッド・ギルモア
撮影……………ピーター・ビジュー
編集……………ゲリー・ハンプリング

★キャスト

ピンク……………ボブ・ゲルドフ
母……………クリスティン・ハーグリーブス
父……………ジェームス・ローレンソン
妻……………エレアナー・デビッド
子供時代のピンク……………ケビン・マッケオン
マネージャー……………ボブ・ホスキンス
幼児時代のピンク……………デビッド・ビンガム
アメリカン・グルーピー……………ジェニー・ライト
教師……………アレックス・マッカボイ

★これはコンサート映画ではない! ★〈フェーム〉のA・パーカーと 〈炎のランナー〉のD・フットナム

「これは単なるコンサート映画ではない」と、アラン・パーカー監督は企画の最初の段階で製作資金調達のためにハリウッドの資本家たちに説明してまわったが、誰にもなかなか理解してもらえなかった。従来、コンサート映画は儲からないものという先入観があったので誤解を招いたのだ。矢つぎばやにアカデミー賞級の作品を発表し、カンヌ映画祭でも毎年のように話題を集めている国際的な映画人アラン・パーカーの企画にはみんなが飛びつきの、この作品だけは例外だった。それだけ説明がむづかしい型破りの画期的な映画だった。結局、「フェーム」で協力したMGMのデビッド・ベゲルマンだけが彼を信頼して出資の約束をした。

「炎のランナー」でいまやイギリス映画界の新しいリーダーとなったデビッド・フットナムが、日本でも大ヒットした「小さな恋のメロディ」を製作して世界を驚かせたのは、若冠28歳のとき。彼の依頼で、その作品の脚本を書いたのが、25歳のアラン・パーカーだった。ふたりはおなじ広告代理店で宣伝の仕事にたずさわっていた親友同士で、その後も「ダウンタウン物語」「ミッドナイト・エクスプレス」と協力して、意欲にみちた秀作を連発、そのいずれもがアカデミー賞をはじめかすかすの国際的な賞を受けるというエネルギーな活躍ぶりを示し、1作ごとに世界の注目を集める存在となっている。

★ピンク・フロイドと映画

ピンク・フロイドの活動における音楽と映像の結びつきは、ずっと以前からのものであった。彼らは、照明、スライド、映画その他の特殊効果を実験的にとり入れた初めてのグループと言える。したがって、ピンク・フロイドのステージ・ショーほど大がかりなスペクタクルはなかった。さらに、「モア」⑨「砂丘」⑩など映画音楽も担当、彼らのライブ・ショーのコンサート映画も1972年の公開いらい稼ぎがしらとなっている。

ピンク・フロイドが漫画家でイラストレーター・ジェラルド・スカーフに、「炎～あなたがここにいてほしい」のライブ・ショーのためにアニメーションを依頼したのは1975年のことである。このときの試みは完全に成功したとは言えなかったが、やがて1980年2月7日、ロサンゼルス・スポーツ競技場における『ザ・ウォール』コンサートで画期的なステージとなってみごと花ひらく。高さ9メートル、全長48メートルの巨大な壁がステージに建てられ、そこにジェラルド・スカーフの奔放なイメージにみちたアニメーションが映写され、まさに音楽と映像の氾濫に観衆は圧倒され熱狂したのだ。彼のアニメーションは、この映画でも欠かせぬ要素として随所に挿入され、観客を異次元の世界へ引きずり込む。

ピンク・フロイドの『ザ・ウォール』コンサートは、ロサンゼルスのおこなわれ、20回の公演で50万人の観衆を動員した。なお、『ザ・ウォール』のダブル・アルバムは1170万部という驚異的な売れ行きを記録している。

デビッド・フットナムが新人発掘の理念に燃えて「炎のランナー」を製作すれば、一方で、アラン・パーカーが「フェーム」さらに「ザ・ウォール」と、大胆な構想で映像表現の壁に挑み、このふたりのヤングパワーの抬頭には世界各国から惜しめない拍手が送られている。



近日ロードショー!

特別鑑賞券 ¥1,200
絶賛発売中!
(一般 ¥1,500 の処)
(学生 ¥1,300)

丸の内松竹 新宿京王2
(201) 3720 (356) 3518